# 一般社団法人 岐阜県作業療法士会

#### | 認知症に関する活動計画(概要)

岐阜県作業療法士会では、平成26年度より地域リハ推進部内に認知症対策推進委員会を設置し、地方局と協力し各地区への認知症推進委員の配置した。平成27年度からは、①認知症リハビリテーション専門職の人材育成、②認知症リハビリテーション専門職の地域派遣体制の構築を中心として活動を進めています。①に対して県士会主催の研修会,②に対しては、認知症の人と家族会での出前講座や研修会講師を行っています。今後も地域に貢献できる人材育成を行い、地域に参加の出来る場を提供していきたいと思います。

### 認知症の人と家族の会との連携事業①

昨年同様に、「認知症の人と家族の会:岐阜支部」の賛助会員として登録させていただきました。会員が各地域で行われている認知症カフェへの参加であったり、「つどい」への参加、研修会などを行っていく予定です。

今回の依頼として、「家族支援プログラム」の研修会を頼まれ、講義は全6回あり、第5回目の担当としてやらせていただくことになりました。対象は、「初期から中期の認知症の方を介護している介護家族」に対して、岐阜県作業療法士会として、「認知症の方へのリハビリ」について話をさせて頂きます。



## 認知症の人と家族の会との連携事業②

今年度は、岐阜支部(西濃地区)からの依頼で、カフェにて出前講座を行いました。内容としては、「認知症と作業療法」というテーマで行いました。やはり、作業療法については、まだまだ認知度が高いとは言い切れませんが、どういったことを行いう職種なのか、生活していける場や楽しみをいかに引き出していくのか、またその人らしさをいかに考えていけるか、ということを話をさせて頂きました。



### 地域リハ推進部事業(士会独自の取り組み)

重層的支援体制の検討を進めており、包括的支援体制のことを広く県士会員にも理解を進めていく必要があると思います。そのため、地域リハ推進部内の研修会を分野ごとの研修会に分けるのではなく、合作で行い研修会への参加者を増やしたり、また遠方からの参加者のことも考え、ハイブリット開催を進めていく予定です。